



長野県立 子ども病院だより

No.20
平成23年11月22日発行



長野県立子ども病院理念
わたし達は、未来を担う子ども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

第3回子ども病院祭を終えて

長野県立子ども病院では、平成23年10月16日(日)に「行こう!! 見てみよう!! 子ども病院」をテーマに第3回子ども病院祭を開催いたしました。当日は、朝方まで降っていた雨も止み、北アルプスの山々がはっきりと見える雲一つない秋晴れの中、約2000名の方にご来場いただき大変にぎやかな病院祭になりました。ご来場いただきました皆様、当日のお祭りの運営にご協力いただきましたスタッフの皆様改めて御礼申し上げます。

当日は病院祭実行委員会で計画した、講演、イベント、模擬店、展示など26の楽しいイベントが

第3回子ども病院祭実行委員長 高見澤 滋
行われました。中でも大人気だったのが「子ども病院版キッズニア」。院内各部署にお願いして「子ども病院ではこんな職種の人がこんな仕事をしています」ということを紹介するためにブースを出してもらいましたが、ミニ職業体験コーナーでは薬剤科の「ラムネ、マールチョコ、グミの分包」、臨床工学科の「人工心肺回路に流れるジュース」などには順番待ちの長い列ができていました。

海洋薬研究所所長林正道様にお願いした「海洋生物ラジコン」、子ども病院を舞台にした漫画「天使のいる場所」の作者折原みとさんの講演会と



吹奏楽団「夢」コンサート

contents

第3回子ども病院祭を終えて	1
産科	2
セカンドオピニオン外来のご案内	4
バドミントン 活動報告	5
外来医師担当表	6

サイン会、長野市出身の手相芸人島田秀平さんのイベント、Everly ハートフルコンサート、軽快なロックンロールの音楽に合わせて電動糸ノコで魔法のように木工細工を作り出すイトノコロックンロールは立ち見ができるほどの大盛況でした。佐久総合病院救命救急センターにお願いして実現したドクターヘリの飛来は予定時間に緊急搬送があつて到着が1時間以上遅くなりましたが、普段近くで見る機会がないドクターヘリを間近で見られるとあって、こども以上に大人も病院スタッフも大興奮のイベントとなりました。

「ペットボトルキャップアート」のために集まったペットボトルのキャップは事前に院内の職員にお願いして集めた物、当日来場していただいた方にお持ちいただいた物を合わせて2万個以上になりました。こども病院のキャラクターの「クマ」をあしらった素敵な「キャップアート」が完成しました。正面入り口にしばらくの間展示した後はワクチン購入のため寄付する予定にしています。

当日は晴天でしたが強い風のため残念ながら熱気球の体験搭乗が中止になり、綿あめ、射的などの模擬店を屋内で行わざるをえなくなりましたが、

ボランティアの方々のご協力で廊下が大混雑するほどの盛況ぶりでした。惣菜パンはあっという間に売り切れ、無料のとん汁、ミニおにぎりも300食分がお昼前なくなるほどの人気でした。

病院を受診されるお子さん、ご家族の方、お見舞いに来られる方以外にはなかなか分かりにくい病院のうかがわを一般の方々にも知っていただくも行われた病院祭。来年以降もまた楽しい病院祭を企画し皆様にお越しいただきたいと願っています。



島田秀平さんの手相イベント



和太鼓ユニット 天空



エイサー演舞

産 科

産科 部長 吉田 志朗

平成23年7月16日より産科部長を担当しております。平成16年12月より平成18年3月まで当院に在職し、以降は東京都内の病院に勤務していましたので、ほぼ5年ぶりの長野での生活です。医局や病棟から眺める安曇野の風景には、心が和

みます。

当院は長野県唯一の総合周産期母子医療センターであり、ハイリスク妊産婦と胎児の管理を行っています。こども病院という特性のため、当院では主に、早産になりそうな症例や、胎児・出

生児に精査や治療が必要と考えられる症例を引き受けています。重症妊娠高血圧症候群や前置胎盤など、母体のICU管理が必要となる可能性の高い症例や、合併症妊娠など産科のみでは対応が困難な症例については、信州大学医学部附属病院産婦人科に妊娠分娩管理を依頼しております。

胎児疾患については、新生児科や循環器科、外



科などの小児各科と共に胎児診断を行い、治療方針を決定しています。胎児不整脈に対する薬物療法や、胎児胸水に対する胸腔-羊水腔シャント造設術などの胎児治療も行っております。今後は、パルボウィルス感染による胎児重症貧血に対する胎児輸血療法など、胎児治療の幅を広げる方針です。

現在、当科は常勤医が6名で、さらに月に1日、信州大学より1名が当直に来ていただいております。昨年1年間の分娩数は199件で、毎年200件前後です。帝王切開率は毎年概ね60%で、明らかに他分娩施設よりも高いのですが、早産症例や胎児疾患症例を多く扱っていることがその要因です。

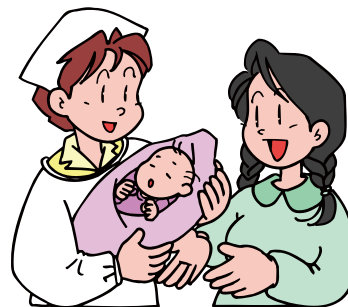
さて、産科医不足が言われて久しいですが、長野県内でも分娩を扱う施設が、病院、診療所（クリニック）ともに減少しています。このため、分娩を扱う施設の負荷は増大し続けるという悪循環に陥っており、特に松本地区の分娩は飽和状態です。この現状から、当院も、県全体の産科領域の負荷軽減につながる運営へと見直しを図る必要があると考えております。

当院には、明らかな胎児異常症例だけでなく、「推定体重が小さい、羊水が多い」などの「何かありそうな症例」も数多くご紹介いただいております。このような症例の多くは今までは、当院での胎児スクリーニングで異常なしであれば、そのまま紹介元に戻って分娩、という方針でした。

しかし、通常の妊婦健診で何の異常も指摘されていない胎児と、何かを疑われて当院に紹介された胎児では、やはりある程度は対応を変えた方が良好だろう、と考えております。後者の中には、出生後に児の異常が顕在化して対応に困った、という症例が含まれているからです。「正常か異常かのボーダーライン」という胎児であれば、ご本人（親）の希望なども考慮し、状況により当院での分娩を勧め、それが結果的に県全体の産科領域における負荷の軽減につながるのではないかと考えております。

周産期領域では最近、late-preterm 児（妊娠34週から36週に出生した児）が注目されています。late-preterm 児の場合、出生直後から低血糖や呼吸リズムの未確立など、管理上様々な手間を要する問題が生じます。当院に紹介ないし母体搬送された切迫早産症例では、従来は概ね late-preterm の時期に入れば紹介元に戻っていただいておりますが、今後は late-preterm の時期を過ぎてから戻っていただくことも考えております。当院におきましても、新生児科と協議の上、周産期センターとして late-preterm 児の長期予後を検討する方向で進めることといたしました。

また、周産期センターでは、次世代の助産師を育てることも重要な務めと考えております。当院は高い帝王切開率、「異常産」の多い施設ですので、助産師は医師の指示を待って動くことが必然的に多くなります。このような条件では、新人助産師にとっては正常経腔分娩を数多く、かつじっくり学ぶことができません。異常な分娩経過に素早く的確に対応できる助産師を養成するためには、正常な分娩経過をしっかりと経験させることが



大前提です。また、中堅以上の助産師にとっては、自らの能力を発揮できないことが労働意欲の低下につながり、これは現在の職場に長年定着する

かどうかにも関係します。助産師のスキルアップのためには、経膈分娩数を増やすことが必要ですが、当面は「ボーダーラインの胎児症例」「late-preterm 症例」の分娩を増やすことで対応する方針です。この方針は、おそらく、紹介元の負荷軽減にもつながることと考えております。

と、ずいぶん都合の良いことを書き連ねました。日々、紹介や相談を受ける中で、先生方の中で当院の敷居が高くなっていないか、ということが気になっております。先日、松本・安曇野地区の病

院数ヶ所にご挨拶に伺いましたが、当院に対するご意見やご要望を直接伺うことができ、大変有意義でありました。従来からの方針の変更には、その際のご意見を参考にさせていただいた部分もあります。「こども病院にはこうあってほしい」といったご意見がございましたら、遠慮なくお聞かせいただきたく存じます。長野県の周産期医療のため、双方向で意見や要望の交換ができましたら幸いです。

e-mail : dfsdg140@yahoo.co.jp 吉田 志朗

セカンドオピニオン外来のご案内

患者支援・地域連携室 室長 藤岡 文夫

当院では、「わたし達は、未来を担うこども達のために、質が高く、安全な医療を行います」という理念のもと、患者さんの病気や診療に対する不安や疑問にお応えするため、セカンドオピニオン外来を開設しました。

当院の専門医が、患者さんのご相談に適切なアドバイスを提供させていただきます。ご相談をお待ちしております。



◇セカンドオピニオンとは

当院以外の医療機関におかかりの患者さんを対象に、当院の専門医が診断内容や治療方法について意見や判断を提供し、患者さんがより良い治療方法を選択できるよう支援するものです。

患者さんのお話や主治医からの資料の範囲内で判断し診察や新たな検査・治療は行いません。また、当院への転院をお勧めすることはありません。

セカンドオピニオンの結果については、主治医にもご報告しますので、今後の治療等についてご相談ください。

◇ご相談を受けられる方

患者さん本人、ご家族（2親等以内）とします。ご家族のみのご相談も可能ですが、その場合は、相談者の本人確認書類や患者さんとの続柄を確認できる書類などをご提示ください。

◇ご相談の内容

相談内容の例としては、「現在の診断や治療の妥当性に不安を感じている場合」「内科療法と外科療法の選択に迷っている場合」「手術を勧められたが判断がつかない場合」などです。

相談内容が専門外である場合、主治医に対する不満や苦情に関する相談、主治医の紹介状がない場合などは相談をお受けすることはできません。

◇相談時間及び料金

- (1) セカンドオピニオン外来は完全予約制です。
- (2) 相談時間は1時間以内です。
- (3) 料金は、患者さんへの説明書、主治医への報告書の作成費を含め、21,000円（消費税込み）です。
- (4) セカンドオピニオン外来は自由診療です。健康保険の対象となりませんのでご了承ください。

◇相談までの流れ

- (1) 主治医に、当院のセカンドオピニオン外来の受診希望をお伝えいただいた後、セカンドオピニオン外来窓口にご連絡ください。相談までの流れや必要書類などについて、ご説明いたします。

- (2) 相談が決定した場合は、主治医に「診療情報提供書」の作成、検査データ等の貸出をご依頼ください。検査データ等の資料のご提出がない場合は一般的なお話しができず、有効なセカンドオピニオンを提供できません。
- (3) 「診療情報提供書」等に基づき、当院担当医が相談日を決定し、当院からご連絡します。
- (4) 相談当日は、『患者支援・地域連携室』にて受付後、相談室にご案内いたします。

- (5) 相談後、会計窓口にて会計をお願いいたします。患者さんへの説明書、主治医への報告書は、一両日中に発送いたします。

◇セカンドオピニオン外来窓口

☎ 0263-73-6700 内線1632

12月29日～1月3日及び土・日・祝日を
除く平日の9時から16時まで

B.B.C バドミントン 活動報告

バドミントン部 関澤 正



NAGANO CHILDREN'S HOSPITAL

こども病院バドミントンクラブ（B.B.C：Badminton Bear Club）は昨年発足し、週1回、平日の夜に近くの体育館で活動しています。練習内容はラケットの握り方、ペットボトルを改造したシャトル（水鳥球）補給器をフル活用してのノックや本格的なゲームまで幅広く行い、部署や男女を問わず、初心者から上級者まで和気あいあいと体育館を動き回っています。学生時代からの経験者もいますが、これを機にバドミントンを始めた職員も多くいます。また、毎年開催されている職場対抗戦である県職員球技大会バドミントンの部に、経験者を中心とした6人1チームの団体戦で参戦しています。

地方事務所など他の職場では男性が多い中、昨年度は男性1名のみという女性中心のチームで初出場。地区大会を辛勝して県大会に進み、結果は4位。手応えと勝てる喜び、負ける悔しさを感じつつ、優勝を目標にさらに練習を重ねました。そ

して今年度は男性医師や看護師の新たな加入で、地区ブロック大会には2チームが出場し共に善戦。そのうち1チームが地区大会を制し、県大会へ進出しました。県大会はリーグ戦方式でしたが、どのチームも男性中心でメンバーを揃えており、思うように勝ち点を積み重ねられず苦戦。勝敗数、勝ちセット数も同一という白熱した戦いを得失点差で逃げ切り、県大会優勝の快挙を達成。初めて知事優勝杯を病院に持ち帰ることができました。（翌日の筋肉痛はかなり激しかったです…）

そして、栄えある「院長賞」として練習用のシャトルを贈呈していただき、来年度の連覇を目指して、他施設との合同練習や交流試合など、熱の入った練習をしています。

クラブでは医師、看護師をはじめ事務、臨床検査技師や理学療法士、栄養科職員など様々な職種や部署のメンバーが活動し、交流と親睦を深めています。もちろん病院の中でも日々、患者様により良い医療とサービスの提供を目指して他部署とのコミュニケーションを図っておりますが、このクラブ活動を通しての交流や連携も、チーム医療に役立っていると確信しています。今後も部署の垣根を越え、趣味を通じてリフレッシュしながら交流や親睦を深め、「いきいきと働く事」「県大会2連覇」を目指して活動していきます。



長野県立こども病院 外来医師担当表

平成 23 年 11 月 1 日現在

	外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
南棟外来	整形外科	藤岡 文夫 (AM)	高橋 淳 (PM) ^{*2}	藤岡 文夫 (AM) 加藤 博之 ^{*1}	松原 光宏 (AM)	藤岡 文夫 (AM) 松原 光宏 (PM)
	小児外科		岩出 珠幾 (AM) ^{*3} 好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	町田 水穂 (AM) 好沢 克 (PM)	町田 水穂 (AM) 岩出 珠幾 (PM)
	眼科	非常勤 ^{*4}	視能訓練	視能訓練	北原 博 (11/10) 北澤 憲孝 (11/17)	北澤 憲孝
	総合小児科	南 希成 笠井 正志 ^{*5}	樋口 司	南 希成 (AM) 樋口 司 (PM)	笠井 正志	樋口 司 (AM)
	血液腫瘍免疫科 免疫・アレルギー外来	南雲 治夫			南雲 治夫	
	血液腫瘍免疫科 血液・腫瘍外来	塩原 正明	原 洋祐	塩原 正明 倉田 敬		塩原 正明 (AM) 倉田 敬 (AM)
	血液腫瘍免疫科 内分泌・代謝外来		竹内 浩一		竹内 浩一	竹内 浩一 (AM)
	循環器小児科	小坂 由道 (AM) 坂本 貴彦 (AM)	安河内 聰 瀧間 浄宏	坂本 貴彦 (AM) 原田 順和	安河内 聰 田澤 星一	瀧間 浄宏 田澤 星一 (AM)
	リハビリ テーション科					笛木 昇 (AM)
北棟外来	脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐 (PM)	重田 裕明		重田 裕明 宮入 洋祐 (PM)	
	泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来		下記 ^{*6}			
	神経小児科	平林 伸一 ^{*7}	奥野 慈雨 (AM) 平林 伸一 ^{*7} 平野 悟	奥野 慈雨 (AM) 平林 伸一 平野 悟 (AM)	平野 悟 (AM)	平林 伸一 平野 悟
	小児外科					高見澤 滋 ^{*8}
	新生児科	中村 友彦 (AM)	小久保 雅代	廣間 武彦 三代澤幸秀 ^{*9}	廣間 武彦	小久保雅代
	形成外科	野口 昌彦 池上みのり 安永 能周 (AM) 藤田 研也 (PM)		野口 昌彦 池上みのり 杠 俊介 (PM) ^{*10}	野口 昌彦 (PM)	安永 能周 (PM) 野口 昌彦 (PM) 池上みのり (PM)
	麻酔科	大畑 淳 (AM)				
	皮膚科			芦田 敦子 (AM)		
	精神科 こころの診療科				原田 謙 (PM) ^{*11}	
	遺伝科	古庄 知己 (PM)			鳴海 洋子 (AM)	川目 裕 ^{*12}
	耳鼻咽喉科		出浦美智枝			
	循環器小児科 胎児心臓外来		松井 彦郎 (PM)		瀧間 浄宏 (PM)	安河内 聰 (AM)
	産科	吉田 志朗 (AM) 高木紀美代 小松 篤史 (PM)	高木紀美代 小松 篤史	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 小松 篤史	高木紀美代 小松 篤史
リハビリ テーション科	笛木 昇 原田由紀子	笛木 昇	笛木 昇	笛木 昇 (AM) 原田由紀子 (AM)	河野 千夏 (AM)	

- ※ 1 整形外科の加藤医師は、隔月第3水曜日のみ診察となります。
- ※ 2 整形外科の高橋医師は、第2週のみ診察となります。
- ※ 3 小児外科の岩出医師は、第1、3、5週です。
- ※ 4 11/7・21、12/5・19の診察日となります。11/28は北澤医師の診察日となります。
- ※ 5 月曜日の笠井医師は、予防接種外来になります。(午後のみ)
- ※ 6 泌尿器科 午前 週によって、医師が異なります。
午後 皮膚・排泄ケア外来は、第1、5週で西澤医師の診察日となります。
- ※ 7 月・火曜日の午前中 平林医師は発達障害専門外来です。
- ※ 8 第2・4週は午前・午後、第1・3・5週は午後のみ診察となります。
- ※ 9 水曜日の三代澤医師はシナジス接種外来になります。(午後のみ)
- ※ 10 第3週のみ診察となります。
- ※ 11 精神科 (こころの診療科) 外来の初診は、受付しておりません。
- ※ 12 11/11・15、12/13・27、1/6・20の診察日であり、午前11時からの診察となります。

★診察時間：午前9時～午後4時
★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始
★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話
0263-73-5300